五穀豊穣　無病息災
2つの大祭

横田町 熊野神社五年大祭









❖熊野神社五年大祭

10月11日㈰、横田町内の熊野神社の例大祭が平成28年以来10年ぶりに開催されました。

熊野神社を出発した神輿渡御（みこしとぎょ）や大名行列をはじめ、鮮やかな傘を手にした女性陣らによる手踊りが同町内を練り歩き、沿道を華やかに彩りました。また、御旅所（おたびしょ）となった2区会館では市指定無形民俗文化財「本宿梯子虎舞」を披露。才坊振りが、長さ約15メートル、垂直高約13メートルのはしごの頂上に登ると歓声が上がりました。そのほかにも、宙にぶら下がるなどの勇ましい姿に、観客は夢中になって見ていました。

虎舞の披露後に設けられた余興では、同町に伝わる郷土芸能やさまざまな踊りなども披露されました。保育園の子どもたちによる元気いっぱいの踊りもあり、会場を和ませていました。

実行委員長の菅野淳（かんのじゅん）さんは「9月までは雨続きで開催が危ぶまれたが、今日は素晴らしい秋晴れに恵まれ、最高の状態で祭りを迎えることができた。皆様の協力により盛大に開催できることに感謝する」と話していました。

広田町 根崎・鶴樹神社例大祭









❖根岬・鶴樹（つるき）神社例大祭

同日には、広田町の根岬漁港広場で根岬・鶴樹神社例大祭が8年ぶりに開催されました。

さわやかな秋晴れのもと実施された本大祭には、地域住民をはじめとして、祭りに合わせて帰省した地元出身の人も訪れており、会場には地元有志による出店も並ぶなど、賑わいを見せました。

会場では、市指定無形民俗文化財の「根岬梯子虎舞」が披露されました。高さ約20メートルのはしごを舞台として、才坊と虎が繰り広げる迫力ある演舞に、訪れた観客からは大きな拍手が送られました。また、余興奉納として地元小学生による子ども七福神や、地元太鼓団体による圧巻の演奏も披露され、祭りに華を添えました。

実行委員長の菅野富久司（かんのふくじ）さんは、「素晴らしい秋晴れのもと、お祭りを開催できたことを何よりうれしく思う。梯子虎舞をはじめ、どの余興奉納も素晴らしく、練習の成果が十分に発揮されていた。地域に根付く伝統行事を次世代へ継承していくには、担い手不足などの課題もあるが、次回の開催に向けて、できる限りのことに取り組んでいきたい」と地域の伝統がこれからも大切に受け継がれていくことへの期待を寄せました。